

# 平成29年度学校自己評価シート

目指す学校像	生徒が自律の心と明確な目的意識をもって自分の夢の実現に挑戦し、保護者や地域社会の期待と信頼に応える学校
スローガン	キミに「生きる力」
重点目標	1.安全で明るく楽しい充実した高校生活を送るための指導
	2.基本的な生活習慣とルール・マナーの定着指導
	3.学力定着と学年に応じた進路指導に取り組み、満足度の向上を計る
	4.資格取得や確かな知識・技術を習得させる指導

年 度 当 初					
部名	項目	現 状	評価項目	具体的な方策	評価指標
保健安全部	1	インフルエンザが大流行した。その他の感染症罹患の生徒は減少した。 インフルエンザ欠席 270名 学級閉鎖 7クラス その他感染症 29名	・手洗い・うがい・換気の大切さについて指導。 ・感染症発生時期や発生時の迅速は情報提供と対応。	・泡石鹸や手指消毒の使用や換気を実践したか。 ・発生時に生徒・職員・保護者へ状況や対応策を伝えられたか。	①泡石鹸・手指消毒の使用量測定。 ②放送を利用し換気の推奨。 ③職朝やほけんだよりでの情報提供。
教育相談部	1	学校生活を楽しく過ごしている生徒が多くいる反面、集団に適應できずに悩んでいる生徒や登校状況がなかなか改善できない生徒も多い。	・コミュニケーションをスムーズにとれるための力を高める。 ・学級担任や学年部等との連携指導を充実する。	・HRにおいて、人間関係づくりに取り組む工夫をする。 ・欠席等のきめ細かな把握に努め組織的・計画的な支援に努める。	①HRにおいて、人間関係づくりや改善の方法等について考える機会を多くもったか。 ②個々の欠席状況に応じた連携指導ができたか。
	2	生徒一人一人が自分の個性を生かしながら学校生活を送っているかは疑問である。	・学校生活に生きがいを見つけ、自立心や向上心を自ら育てていけるように指導・支援する。 ・自信や自尊感情を高める。	・Q-Uテスト・エゴグラム・進路意識調査等から生徒を多面的に理解しながら生活の改善を図る。 ・個人やグループで活動する場を拡充して達成感や充実感を醸成する。	①教育相談で、生徒を多面的に理解し、生徒それぞれが改善点や目標をもてるようになったか。 ②係活動や行事等で協力・協働する場を積極的に設けたか。
	3	ネット依存、睡眠不足や食生活の乱れなどにより、生活習慣のバランスを失いかけている現状がある。	・健全な余暇を過ごすことができる。 ・毎日のさわやかな起床と朝食を食べる習慣が身につくよう継続的な指導をする。	・HRで余暇の過ごし方や生活習慣の改善について考えさせる。 ・各家庭向けの啓発資料を作成・配布する。	①生徒の生活実態をアンケートで調査把握し、生活改善に生かしたか。 ②啓発用の資料「週刊 かわら版」を作成し配布できたか。
生活指導部	2	登下校時の門礼、授業開始・終了時の挨拶、来校者への挨拶・礼法に個人差がある。	全生徒に目を向けた温度差のない積極的な声かけ指導の徹底。	・年間を通した礼法訓練とその場指導の徹底。 ・授業開始、終了時の挨拶徹底と繰り返しの指導。	①学校内外での挨拶は確立されているか。 ②授業開始・終了での礼法は確立されているか。
	2	登下校(商業施設・自転車・市電・JR)のマナー違反で苦情がある。規範意識が薄い。	ルール及びマナーを厳守する定期的な指導。	・全校朝会やSHR等の集会を通して交通マナー、携帯電話利用マナー等について指導する。 ・校外巡視指導の実施。	③外部からの苦情はなかったか。 ④校外巡視で指導対象になるような生徒はいなかったか。
	2	頭髪・服装容儀等で注意・指導を受ける生徒が見受けられる。その他、警告カードの指導対象者がいる。	SHR・終礼等での頭髪、服装容儀の徹底指導。	見逃さないその場指導の徹底。	⑤服装容儀等での警告カードによる指導は減少したか。 ⑥頭髪等の身だしなみは適正にできているか。
一年部	1	高校生としての自覚と自律に沿って、責任の意識が薄く、校則やマナー違反に対する考えや反省の度合いが低い。	学級、学年、生活指導部の連携を確立し、情報生として「あるべき姿」の自覚と自律の意識は向上したか。	警告カードや早退・遅刻届の押印回りや頭髪検査を通し、学級、学年、指導部と連携し継続的かつ、徹底した指導を行う。	①素直に話を聞き入れるか。 ②高校生として自覚・自律に沿って責任ある行動が取れるようになったか。 ③身だしなみに改善が見受けられるか。
	2	入学当初に実施したオリエンテーションの中で、礼法・挨拶訓練・集団行動訓練ならびに校歌練習の成果に持続性がない。	定期的な礼法・マナー・挨拶訓練・集団行動訓練及び校歌練習の成果が感じられるか。	学年朝会や学科朝会等で継続的に礼法・マナー・挨拶訓練並びに校歌練習を織り込んでいく。	①礼法・マナーが改善されたか。 ②心のこもった挨拶ができるようになったか。 ③大きな声で校歌を歌えるようになったか。
	2	下校時、身の回りの確認が疎かになり、忘れ物があったり、机等の整列が出来ていない傾向がある。	棚の整理整頓や机の整列並びに、置き勉なしの意識の向上は感じられるか。	終礼時の呼びかけや、放課後等クラスの状態を把握し、違反生徒には警告カード等で妥協せず継続して指導を行う。	①自分の棚は常に整理整頓されているか。 ②机は下校時きちんと並べて下校しているか。 ③最後の確認が出来、置き勉はないか。
二年部	1	自分の将来に対して、不安や心配を抱えている生徒が多い。	3年生に備え、将来の足掛かりを作る。	①キャリアガイダンスの有効活用を図る。 ②教師が親身になって進路指導に取り組む。	①具体的な進路について考えるきっかけができたか。 ②将来の自分像を考えることができたか。 ③進路について保護者や教師に相談できたか。
	2	集団の中でのルールが順守できていなかったり、時間にルーズなところがある。	将来、必要とされるマナーをしっかりと身に着ける。	①修学旅行等の学校行事を通じて集団行動でのルール順守を徹底させる。 ②警告カード等の指導を通じてマナーの向上を図る。	①集合時間は守れたか。 ②修学旅行ではルールやマナーはしっかりと守れたか。 ③警告カード等は1年時に比べ減少したか。
	2	昨年からの清掃状況に差がみられる。	全員で清掃に取り組む。	①掃除時間に他の事(私語・歯磨き等)をしないようにする。 ②自ら進んで掃除を始める。	①清掃時間は掃除のみに集中できたか。 ②自ら進んで清掃用具を握ったか。

# 平成29年度学校自己評価シート

目指す学校像	生徒が自律の心と明確な目的意識をもって自分の夢の実現に挑戦し、保護者や地域社会の期待と信頼に応える学校
スローガン	キミに「生きる力」
重点目標	1.安全で明るく楽しい充実した高校生活を送るための指導
	2.基本的な生活習慣とルール・マナーの定着指導
	3.学力定着と学年に応じた進路指導に取り組み、満足度の向上を計る
	4.資格取得や確かな知識・技術を習得させる指導

年 度 当 初					
部名	項目	現 状	評価項目	具体的な方策	評価指標
三年部	1	・遅刻や問題行動等で押印回りに来る生徒の礼法や頭髪・服装容儀がしっかりできていない。また、反省点や今後の改善策等についてしっかりと答えられず、形式的に終わらそうとする生徒が多い。	・遅刻・警告カード等の押印回りの最初の段階で、礼法の仕方や頭髪・服装容儀等を含めた担任による適切な指導がなされていたか。	・学年主任の押印段階で、基本的な礼法及び頭髪・服装容儀等に問題のある生徒は、再度担任による指導を行う。	①礼法および身だしなみがしっかりとできるようになったか。 ②反省すべき点を十分に理解し、改善に繋げる策をしっかりと導き出しているか。 ③押印回りが、教育的に意義あるものとして生徒に感じられたか。
	1	礼儀、礼節、挨拶の励行が受動的になりやすく、自発的レベルに達していない。	進路指導に関わる取り組み及び各種行事に合わせ、自発的挨拶の励行を促進させ、能動的な礼儀、礼節を身につけさせる。	進路指導に関わる取り組み及び各種行事の中に、礼儀、礼節、挨拶の励行を能動的かつ自発的に促進させる指導を織り込む。	①自ら進んで気持ちのよい挨拶ができるか。 ②日ごろの行動に礼儀・礼節が感じられるか。
	3	進路決定後の気の緩みが、学習意欲の低下や頭髪・服装容儀等の乱れに繋がっている傾向がある。	進路決定から卒業までの取り組みが、新たな進路先で求められるであろう知識の習得や人間的成長に繋がっているか。	進路決定後は、キャリアプランニングの視点で、新たな進路先で求められるであろう知識の習得や人間的成長に繋がる取り組みをさせる。	①進路決定後も、意欲を持って学業に専念しているか。 ②進路先で活かせる知識習得に、目標と計画性を持って取り組んでいるか。
進路指導部	1	進路実現に対しての生徒の意識が十分とは言えない。意識の向上が望まれる。	日頃の挨拶身なりや全校朝礼や学年朝礼など様々な集会等における「聞く態度」等の向上。	・授業はもとより様々な場面でのあいさつの励行。 ・来校者等への自然な挨拶励行。	①様々な場面での適切な挨拶の励行。 ②授業態度の改善。 ③来校者等への自然な挨拶・会釈の励行。
	2	1年生での「自分を知る」2年生での「仕事や学部学科等を調べる」3年生での「進路実現」を目指すべく、生徒間の切磋琢磨を促す。	キャリア教育プログラムのさらなる充実と生徒・保護者との情報の共有化。	・保護者会や学年会等での情報提供をする。 ・進路ガイダンスやオープンキャンパス等への参加を促す。	①生徒・職員(特に学級担任)とのコミュニケーション。 ②生徒の積極的な情報収集。 ③ガイダンスや進学就職に関する行事への参加。
資格指導部	1	各学科での取得目標の認識不足や、資格取得に対する意欲に差が表れている。	年度当初、目標設定を行い、資格取得によって得られる効果を認識しているか。	・学校全体で、資格を考える1時間を設定し、すべての生徒が、目標設定を行う。	①資格を考える時間(LHR)で、取得目標を立てたか。 ②目標へ向け、どのような取組をしたか。
	2	生徒自身が、自分がどのような資格を持っているのか、曖昧な生徒がいる。	・各学期ごとにクラスへ配布する資格取得状況の確認。 ・各学期に出る通知表に記載されている項目の確認。	・資格取得時の、合格証書や認定書の保管や管理。 ・各学期ごとの通知表の確認。	①自分の取得した資格を理解しているか。 ②通知表を各学期確認しているか。
特別活動部	1	学校行事の精選と実施時期は適当か。	学校行事の実施上の問題点の把握とその解決策並びに地域への貢献。	・学校行事を精選する。 ・学校行事の案内と参加を促す指導。	①行事予定表を見て生活する習慣が身に付いているか。 ②学校行事に積極的に参加しているか。
	2	部活動活性化を勧めているが全体的に入部率が低い。	進路指導部との連携を図り部活動の経験が就職試験に有利になることなどを生徒に浸透させているか。	部や同好会への入会を勧め、放課後の有効活用を勧める。施設充実を図る。	①部員数を増やすための方策を講じているか。 ②部活動活躍のニュースを取り上げて話題にしているか。
	3	生徒会活動(総会・文化祭・体育祭)に興味関心が薄い生徒がいる。	生徒会役員を中心とした活動に興味関心を高めるように指導をしているか。	生徒会活動に対して全職員・生徒が興味関心を持つ。またLHR等で学級役員・専門委員の活動を積極的に行うよう指導する。	①LHR等で行事への積極的な取り組みを指導しているか。